

「1950年代教育史」研究部会（第56回）

日時：2021年7月2日（金）13:00～15:10

場所：オンライン（Zoom使用）

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 各兼任研究員
山口和人・金沢千秋・川上智子（野間教育研究所事務局）

欠席：吉久知延所長

内容：（1）西山研究員：「1950年代における大学管理をめぐって（12）」

◆担当章 第3節の原稿検討

1 第10回国会における審議（以前報告分）

- ・2日間の審議、反対意見が目立つものの、目新しい意見は見えず
- ・審議未了で終了

2 第10回国会以後の情勢

- ・第11回・第12回の国会は短期間の臨時国会のため、審議されず
- ・終了後も文部省は法案作成の作業を継続
- ・作成過程で当初の目的の一つ、「民意の反映」は事実上消える
- ・体系的な制定は棚上げ、個別事項の省令・通達を発する方策へ

（2）大島研究員：「第2節 高等学校発足期における定時制分校」

◆担当章 第2節の原稿検討

- （1）新制高校の発足（山梨県） 県立19校 市立2校 町立1校 組合立1校
- （2）定時制課程設置原案とその撤回 定時制課程は13校に併設、分校の設置は未定
- （3）地域における分校設置の検討 財政負担の問題（県か、市町村か）
- （4）予備調査の実施 入学希望者予備調査 本校より分校への入学希望者が多かった
- （5）分校の発足 1948年度は本校11校 分校14校で定時制発足
- （6）入退学の状況 本校には予備調査の希望者数を超える入学者、分校は6割程度退学者も多かった

（3）今後の研究会について

◆9月末最終メー切につき、今後の研究会は原稿未完成部分が出来上がり次第、それぞれ報告

- ・鳥居研究員：7月末までに完成予定
- ・大島研究員・西山研究員：8月末までに完成予定

・次回研究会 2021年8月6日（金）13:00～

次々回 2021年8月27日（金）13:00～